



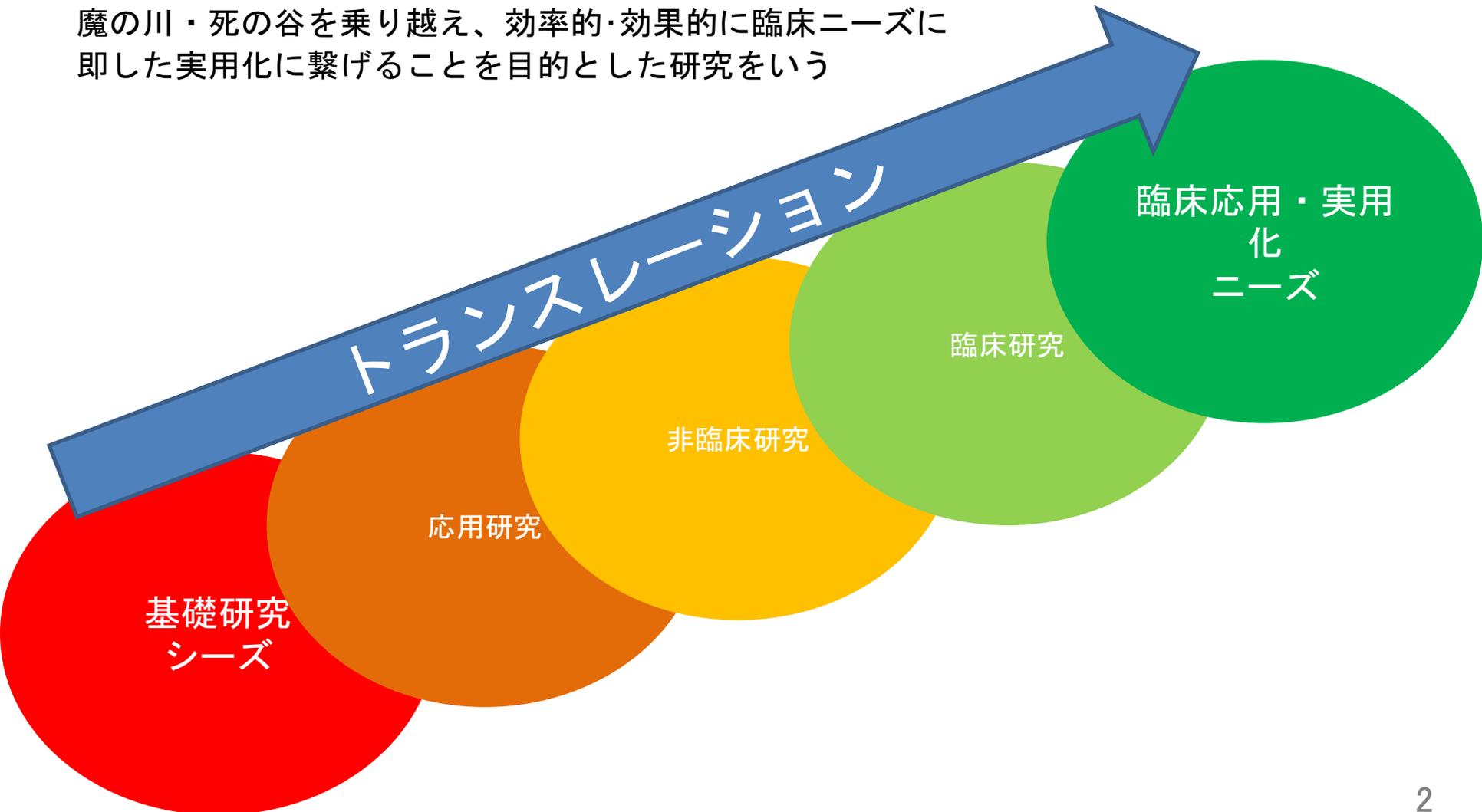
2025年度
橋渡し研究プログラム
異分野融合型研究開発課題（シーズH）
募集説明会

京都大学医学部附属病院
先端医療研究開発機構
(iACT)



橋渡し研究(トランスレーショナル・リサーチ)

- ・ 疾患領域やモダリティといった横断的視点ではなく、研究を縦断的視点で捉えた表現
- ・ 有望な基礎研究シーズを見出し、医薬品等の開発に要する試験物製造から臨床研究に至るまでの工程を一体的に捉えて開発戦略を策定することにより、魔の川・死の谷を乗り越え、効率的・効果的に臨床ニーズに即した実用化に繋げることを目的とした研究をいう



橋渡し研究支援の仕組みと認定機関

文部科学省では、大学等の優れた基礎研究の成果を革新的な医薬品・医療機器等として実用化する橋渡し研究を支援するため、下記1～4の機能を有する機関を「橋渡し研究支援機関」として文部科学大臣が認定する仕組みを令和3年3月に新たに設けました。

1. 高度かつ先進性の高い基礎研究成果や臨床現場からのニーズに基づくシーズの発掘・育成及び非臨床試験から臨床試験への展開を通じた実用化支援機能
2. 実用化支援が滞りなく進むよう管理・推進するプロジェクトマネジメント機能
3. 研究者に寄り添ったコンサルティング機能
4. 実用化研究に係る人材育成機能

AMEDの専門委員会での審査等を経て、12機関が令和6年11月までに認定されています。

※文部科学省HPより引用・改変
橋渡し研究支援機関認定制度

https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/hashiwatashi/index.htm

★ 異分野融合型研究開発推進支援事業 (シーズH)

認定された橋渡し研究支援機関



シーズH

対象疾患/
開発品決定

特許出願

非臨床試験項目
PMDA合意

非臨床POC

臨床試験計画
PMDA合意

臨床POC

萌芽的研究

基礎研究

応用研究

非臨床研究

臨床研究・治験

橋渡し研究支援機関の認定



シーズH (異分野融合型)

非医療分野の技術移転
と医療応用を目指す課
題

橋渡し研究支援機関で
研究費を決定
330万円程度/課題、
1年間

シーズA

特許取得等を目指す
課題

橋渡し研究支援機関
で研究費を決定
330万円程度/課題、
1年間

シーズpreF

非臨床POC取得に
必要な試験パッケージ
の策定を目指す課題

1,000万円/課題、
2年間

シーズF

企業との連携推進を義務化し、企業からのコミットメント
を求め、実用化の加速のための産学協働で
非臨床/臨床POC取得を目指す課題

7,000万円/課題、2年間 →
(ステージゲート通過課題のみ) 9,000万円/課題、3年間

シーズF#

産学協働で臨床POC取得を
目指す課題

9,000万円/課題、3年間

シーズC (b)

臨床POC取得を
目指す課題

8,000万円/課題、3年間

シーズB

非臨床POC取得を
目指す課題

5,000万円/課題、
3年間

シーズC (a)

臨床試験計画の策定および
臨床POC取得を目指す課題

1,000万円/課題、1年間 →
(ステージゲート通過課題のみ)
8,000万円/課題、3年間

拠点内審査による採否 (拠点への申請)

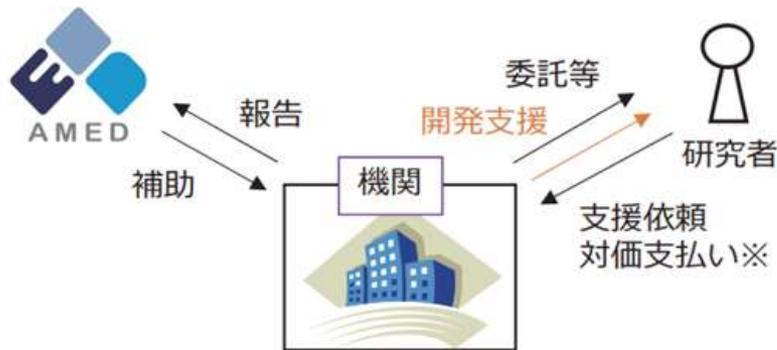
AMED内審査による採否 (研究者と拠点の連携によるAMED申請)

機関の役割とプログラムの実施体制

フェーズに応じた戦略的シーズ開発

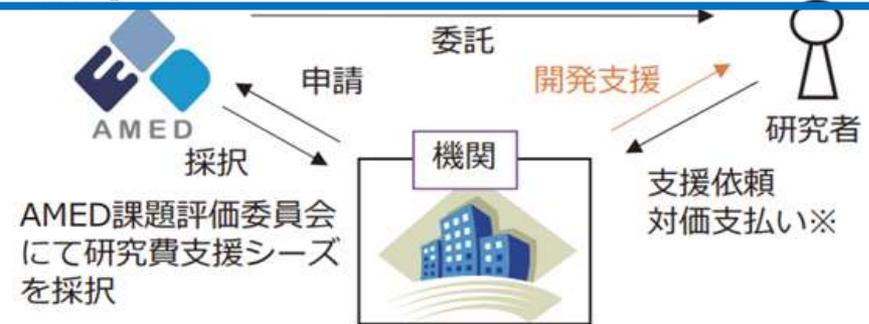
◆ Early phase : 基礎～応用

【異分野】 機関内外の支援依頼シーズについて、
【シーズA】 機関内の評価委員会の判定に基づき
機関の裁量で研究費を配分



◆ Late phase (応用～臨床、産学協働)

【preF】 機関内外からの支援依頼シーズのうち、研究費支援を
【シーズF】 希望するシーズについて、機関がAMEDに支援候補
【シーズB】 シーズとして申請
【シーズC】



※橋渡し研究支援機関は医療実用化のための開発支援を行い、研究者は受給した研究費から支援に対する対価を支払う仕組みになっています。



募集・選考スケジュール

シーズH

個別相談:**随時** (研究内容に関する30分程度の個別Web相談をHPより受け付け)

課題募集: 3/28 (金) ~ **4/17 (木) 正午締切厳守** (申請書と説明スライドをpdf化して提出)

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構

書面審査
(4月下旬~5月中旬)

内定通知 (5月下旬予定) → 辞退者確認

拠点内で採否及び支給金額決定 (5月末頃) → AMED提出書類作成

AMED提出 (6月上旬頃) → AMED承認後、支援開始 (6月下旬頃)

※ シーズH書面審査の過程で、
申請者本人に問合せを行う場合があります。

機関支援機能について



先端医療研究開発機構



Institute for Advancement of Clinical and Translational Science



医学部附属病院長

機構長

副機構長

副機構長

戦略・広報室

ビジネスディベロップメント室

基礎・応用・非臨床

医療開発部

～基礎から臨床応用・実用化への開発戦略立案を促進・支援～

医薬品・再生医療支援ユニット

医薬品・再生医療シーズ支援

医療機器・体外診断薬支援ユニット

医療機器・体外診断薬シーズ支援

データサイエンス部

～サイエンスで医療開発と臨床研究支援をバックアップ～

モニタリングユニット

モニタリング

データマネジメントユニット

データ管理

生物統計ユニット

生物統計、バイオインフォマティクス、リアルワールドデータ解析
機構内IT支援

IT支援ユニット

臨床

臨床研究推進部

～附属病院の臨床研究・治験の実施を推進・支援～

臨床研究アドミニストレーションユニット

特定臨床研究等実施管理委員会事務局、臨床研究に関する院内調整

臨床研究ナビゲーションユニット（臨床研究相談窓口）

臨床研究ナビゲーション・患者相談窓口、臨床研究相談窓口、臨床研究実施支援、安全性情報管理

スタディマネジメントユニット

スタディマネジメント

臨床研究コーディネーターユニット

CRC、治験事務局/IRB事務局、試験薬管理、臨床研究実施支援

先制医療・生活習慣病研究センター

国際連携ユニット

臨床研究国際連携

クリニカルバイオリソースセンター (CBRC)

監査ユニット

臨床研究監査

先端医療機器開発・臨床研究センター (CRCMeD)

教育・研修ユニット

臨床研究教育・研修

臨床研究戦略課（事務部）



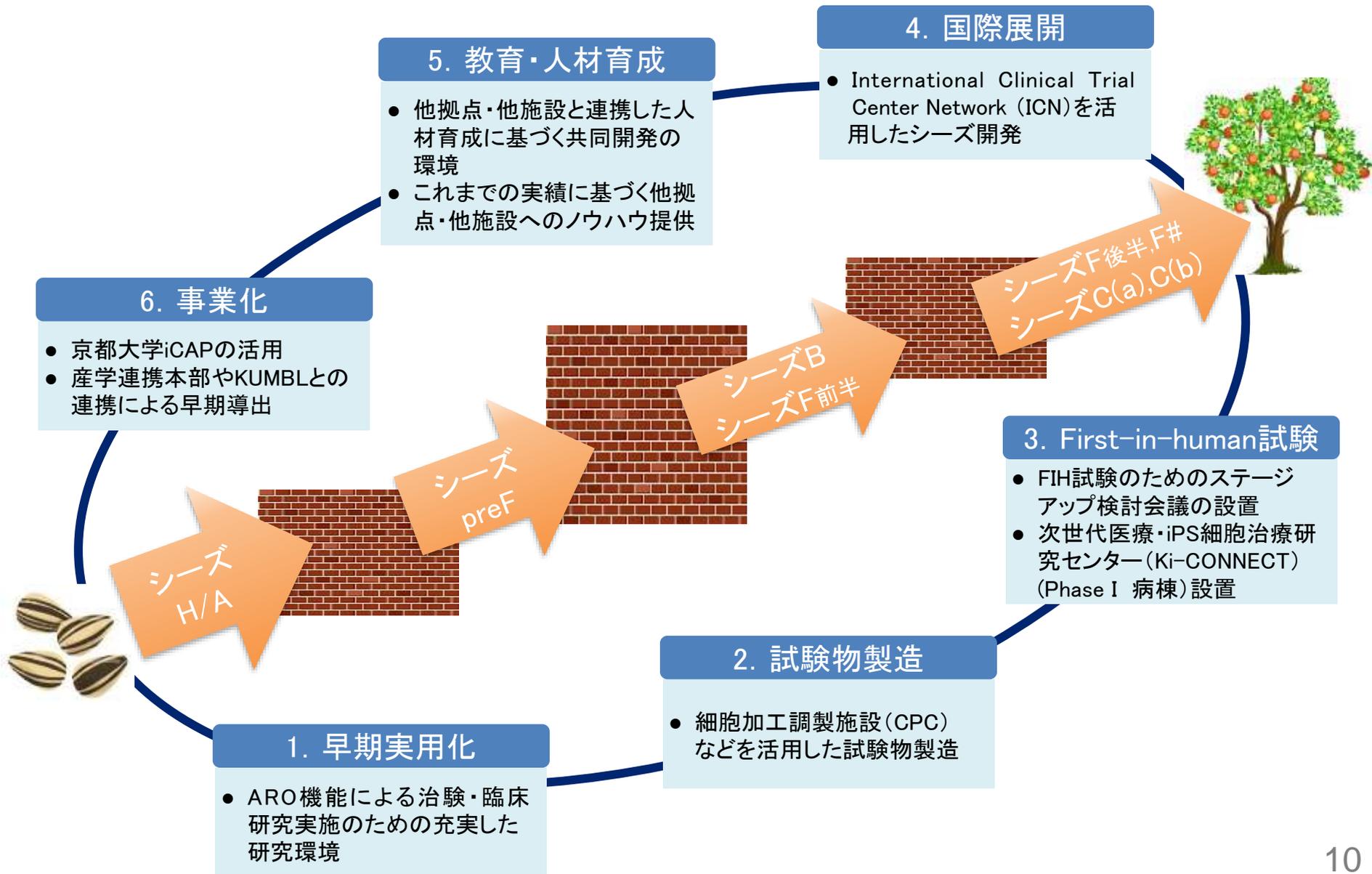
先端医療研究開発機構の支援実績

2025年3月現在

No.	販売名	区分	クラス分類	対象疾患	薬事申請上の分類	薬事承認日
TR-6	メトレプレチン皮下注用11.25mg 「シオノギ」	新有効成分含有 医薬品	－	脂肪萎縮症	医薬品	2013/3
TR-10	X-TALアルカリポーラススパーサー	改良医療機器 (臨床なし)	クラスⅢ	腰椎 (L1～L5) の前方側方からの 固定術の適用が必要な患者	医療機器	2018/3
TR-11	ベルナックGプラス®	改良医療機器 (臨床あり)	クラスⅢ	全層皮膚欠損創	医療機器	2018/4
γ-4	ティーエスワン®配合カプセルT20・T25 ティーエスワン®配合顆粒T20・T25 ティーエスワン®配合OD錠T20・T25	新効能医薬品、 新用量医薬品	－	ホルモン受容体陽性かつHER2陰性 で再発高リスクの乳癌に おける術後薬物療法	医薬品	2022/11
B-16	シュアファインド®	改良医療機器 (臨床なし)	クラスⅢ	肺がん	医療機器	2018/12
B-26	MIPS手術支援装置	改良医療機器 (臨床なし)	クラスⅡ	消化器疾患における外科手術（肝 切除など）、センチネルリンパ節 の同定	医療機器	2019/11
C-2	注射用レザフィリン®100mg	新効能医薬品	－	化学放射線療法又は放射線療法後 の局所遺残再発食道癌	医薬品	2015/5
	EC-PDTプローブ	改良医療機器 (臨床あり)	クラスⅢ		医療機器	
	PDLレーザー	改良医療機器 (臨床あり)	クラスⅢ		医療機器	
C-4	①da Vinciサージカルシステム ②da Vinci Si サージカルシステム	改良医療機器 (臨床あり)	クラスⅢ	咽喉頭癌	医療機器	2018/8
C-5	サンコンKyoto-CS	新医療機器	クラスⅢ	スティーヴンス・ジョンソン 症候群、中毒性表皮壊死症	医療機器	2016/2
C-11	パージェタ®点滴静注420 mg/14 mL	新効能医薬品	－	HER2陽性の早期乳癌	医薬品	2018/10
C-21	サクラシー®	新再生医療等製品	－	角膜上皮幹細胞疲弊症における 眼表面の癒着軽減	再生医療等製品	2022/1

計13件

京都大学機関を活用する利点



■ アカデミア研究開発力の強化

- ・ 異分野融合型研究開発の推進（メンタリング、臨床医とのマッチング）
- ・ バイオマテリアル医療、再生医療などの開発実績



■ 研究開発プログラム

- ・ イノベーションハブ京都交流会（研究者、企業人、起業家の交流の場）
- ・ 研究推進セミナー（研究者への臨床研究に関するトピックの紹介）



■ 非臨床開発から臨床開発までのシームレスな支援

- ・ 競合品調査および非臨床試験、臨床試験、TPPの提案
- ・ 競争的資金の獲得支援（例：AMED事業への申請支援）



■ 大学発ベンチャーへの支援

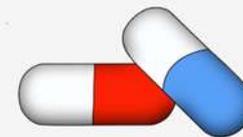
- ・ 資金獲得に向けた海外投資家とのマッチング支援
- ・ ベンチャーに対する公的予算獲得相談



- 創薬シーズについては、シミック・ホールディングス社に開発物の競合品、非臨床試験、臨床試験の調査を依頼し、Target Product Profileの提案を受けることができます。
- 費用はシーズ研究費からの支払いが可能です。
- 調査結果は、AMEDの各種事業の申請に利用可能です。

<調査報告書の目次>

- 急性骨髄性白血病(AML)の治療薬状況
- エグゼクティブサマリー
- AML治療ガイドライン
- 日米EU5カ国のAML患者数
- AML治療薬の売上予測
- AML治療薬の開発状況
- AML治療薬の臨床データ
- AMLに対するアンメットニーズ
- AML治療薬の開発に必要な非臨床試験項目
- AML治療薬の開発に必要な臨床試験項目
- AML治療薬の導入を検討している企業の例
- 総論: Target Product Profile



シーズ商談会に積極的に出展して、早期にパートナー企業との提携を図り実用化を推進

■ DSANJ Digital Bio Conference (Drug Seeds Alliance Network Japan)

大阪商工会議所が運営事務局となり、創薬シーズ(創薬)・基盤技術(創薬に使われる技術)、バイオマーカー・診断薬・試薬の研究・開発成果を収集、蓄積した上で製薬企業に紹介し、日本国内での創薬活動を促進するためのプログラム

開催頻度・時期:年2回(夏季・冬季)

出展実績:2018～2024年度:合計17課題

■ BioJapan

展示・セミナー・パートナーリングで構成されるアジア最大級のパートナーリングイベント。世界で最も歴史のあるバイオテクノロジー展「BioJapan」(1986年～)

開催頻度・時期:年1回(10月)

出展実績:2024年度:合計2課題

■ その他、近畿バイオ主催の商談会も参加予定

- AMEDより委託を受けた(株)日本総合研究所による開発支援
- 研究者の課題認識・検討熟度に応じて、下記7つの支援を提供
- AMED、(株)日本総合研究所、研究代表者(+研究分担者)、拠点PMを中心にオンライン打合せを行い、検討を進めます。

市場性	1 適応疾患・適応用途の拡がり追及（市場性のポテンシャル最大化）
	2 利用シーン・適応患者像・臨床的意義の仮説構築、臨床医ヒアリングによる検証
競合優位性	3 競合技術俯瞰、競合優位性の仮説検討
実現可能性	4 vitro/vivo/ex vivo評価系、評価項目の洗い出し
	5 短期研究開発計画、ゲート・マイルストーンの検討
事業性	6 対象患者数・市場規模感推計、対象拡大シナリオの検討
	7 事業・収益モデル、サービス提供モデルの検討

創薬ブースター 各ステージにおける支援内容



橋渡し研究との連携枠もあり、医薬品シーズで積極活用

AMED ホームページ : https://www.amed.go.jp/program/list/11/02/001_01-01.html



臨床研究推進セミナー

ご希望に
応じ参加

2024年度

■ iACTでは、様々な育成セミナーを提供しています

	開催日	内容
第1回	2024/4/23	クリニカルサイエンス-原理と実践-
第2回	2024/5/17	リサーチ・クエスチョンの作成：臨床研究イントロダクション
第3回	2024/5/27	慢臨床研究に必要な補償と保険の基礎知識
特別企画	2024/5/28	治験候補患者ご紹介のお願いに関する工夫
第4回	2024/6/7	ゴールを見据えた臨床研究の枠組み
第5回	2024/6/12	特定臨床研究の誤解を解く～留意点とiACTの支援～
第6回	2024/6/17	臨床研究に必要な補償と保険の基礎知識
特別企画	2024/6/25	臨床研究 初めの第一歩／システムの使い方など
特別企画	2024/7/11	科研費採択の秘訣 ～若手研究申請を中心に～
第7回	2024/7/18	研究者のための知的財産入門講座
第8回	2024/7/23	臨床研究計画の策定とデータ収集戦略
特別企画	2024/8/1	橋渡し研究に取り組んでみませんか？～2025年度橋渡し研究プログラム研究課題募集説明会～
第9回	2024/9/3	監査の種類』 & 『利益相反』 & 『監査の目線でみた臨床研究法研究』
第10回	2024/9/5	基礎研究成果を実用化するために知っておくべきこと
特別企画	2024/9/26	倫理審査申請について（倫理指針に係る個人情報取扱いと一括審査）
特別企画	2024/9/27	AI×臨床研究～働き方改革時代における効率的な臨床研究の在り方を探る～
特別企画	2024/10/17	臨床研究に必要な資金を獲得するためには～AMED事業を中心に～
特別企画	2024/10/22	論文のオープンアクセス化 図書館が支援します
第11回	2024/10/31	重大な不適合について
ワークショップ	2024/11/5	京大病院に通院・入院中の患者さんとご家族のためのがんセミナー「すごろくを通して『くすり』の旅へ」
第12回	2024/11/5	ストーリーで考えるリサーチ・クエスチョンの作り方
医師研修	2024/11/22	質の高い臨床研究・治験の実践を目的とした医師・歯科医師のための研修
第13回	2024/12/6	単変量と多変量の解析、どう使うの？
特別企画	2024/12/18	我が国の臨床研究の動向を知る
第14回	2024/12/23	臨床研究におけるデータマネジメント
市民公開講座	2025/1/19	未来の医療のために-iPS細胞を活かした治療開発と将来展望-
第15回	2025/1/24	先進医療・患者申出療養等について
研修	2025/1/25	上級者臨床研究コーディネーター養成研修
特別企画	2025/2/3	PMDAレギュラトリーサイエンス（RS）相談の活用法
研修会	2025/2/14	訪問&病院看護師むけ臨床研究・治験研修会
特別企画	2025/2/14	DCTの課題と未来を考える
シンポジウム	2025/2/26	再生医療シンポジウム「再生医療の開発を成功に導くための要素とは～見えてきた課題に対して～」

KYOTO UNIVERSITY

※ 詳細については、iACTのHPをご覧ください(<https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/seminar>)



イノベーションハブ京都 交流会

ご希望に
応じ参加

■ 様々な育成セミナーをIHK交流会としてオンラインで提供致します

2024年度

開催日	講師	内容
2024/6/11	北岡 義隆 (iACT)	プロジェクトMeBKY「医療機器開発の秘訣」
2024/6/26	八木 秀樹 (ニプロ株式会社)	<共同開発マッチングセミナー>「ニプロと医療機器開発をしませんか」
2024/9/11	波多野 悦朗、西野 裕人、影山 詔一、山根 佳 (肝胆膵移植外科)	プロジェクトMeBKY3「診療科紹介・臨床ニーズ発表」<肝胆膵・移植外科>
2024/9/24	尾野 亘、長央 和也、渡邊 真 (循環器内科)	プロジェクトMeBKY4「診療科紹介・臨床ニーズ発表」<循環器内科>
2024/10/21	荒川 芳輝、野 徳隆、池堂 太一、千原 英夫 (脳神経外科)	プロジェクトMeBKY5「診療科紹介・臨床ニーズ発表」<脳神経外科>
2024/10/24	原 陽介 (株式会社ヘルスケアビジネス総合研究所)	デザイン思考で革新する大学発医療機器開発
2024/10/30	小林 啓治 (武田病院)	介護現場におけるDX化の現状と課題
2024/12/7	原 陽介 (株式会社ヘルスケアビジネス総合研究所)	デザイン思考 ワークショップ
2024/12/21	泉 晃 (SREホールディングス株式会社ほか)	医療AIセミナー・ワークショップ
2025/2/26	富永 朋 (株式会社プリメディカ)	失敗事例から学ぶ～医療系スタートアップ 経営の要諦



医療機器に関する育成プログラム HiDEP

拠点内外

2025年度の予定

医療ヘルスケア・イノベーション起業家人材育成プログラム

HiDEP 3カ月の育成プログラム

講義編

- 薬機法
- 医学系
- 経営学系

実践編

- 臨床現場ニーズ(課題)発掘
- ソリューション検討
- プロトタイピング
検証

最終発表
DemoDay

【日程】 2025/7/5~9/20 土曜 (10:00-)13:00-17:00

【形態】 講義編：オンライン/オンサイト

演習編：オンサイト

イノベーションハブ京都（医薬系総合研究棟）

講義編		演習編	
第1日 7/5	イントロダクション 起業家講演 デザイン思考（ワークショップ）	第1日 7/19	演習編イントロダクション ワークショップ チーム発表/メンタリング
第2日 7/12	スタートアップ法務 医療機器開発の基礎	第2日 8/23	起業家講演 医療機器開発の実際 チーム作業/メンタリング
第3日 8/9	医療機器の承認審査・保険収載 デジタルヘルス マーケティング	第3日 9/20	最終発表/メンタリング/審査 起業とは 結果発表
第4日 8/30	アントレプレナーシップ 知的財産入門 ファイナンス	チームに分かれ、臨床ニーズ起点で ビジネスプランを創り上げます。	

<https://mebky.kuhp.kyoto-u.ac.jp/hrd/hidep/>

2024年度の開催例

HiDEP *advance*

HiDEPにつづく3か月プログラム

目的

JAPAN
BIODESIGN
OSAKA

解決したい臨床ニーズを持ち、**本気で起業したい方を対象としたプログラム**です。
Japan Biodesign Osakaの支援を受け、3ヶ月間で徹底的に、ニーズ視点で課題や市場規模などの検証を行い、事業性の高いコンセプト創出、補助金申請が可能なレベルのアウトプットを目指します。

実施日	内容
11/6	チーム発表/メンタリング、 講義・実習 プロセス概要、 講義・事例紹介
11/20,28	ニーズの定義・検討
12/4,11,18	ニーズの特定・調査
1/8,15	コンセプトの検討
1/22	事業化戦略
1/29	最終発表/フィードバック



2025年度の日程が確定次第
周知いたします

<https://mebky.kuhp.kyoto-u.ac.jp/hrd/hidep-a/>



大学発ベンチャーに対する支援

拠点内外

京都大学ライフサイエンスショーケース @ San Diego

これまでの実施例

– 国内アカデミア発スタートアップ企業対象の米国資金調達のためのイベント

開催状況	2020年より毎年2月下旬ごろに開催 (第2回、3回はコロナ渦によりWeb開催・ショーケースのみ)
内容	ショーケース／米国内での起業・製品化に関するセミナー／ 現地インキュベーター見学ツアー
発表企業	第1回5社、第2回18社、第3回16社、第4回14社、第5回11社、第6回 11社(国内企業7社、 海外招待企業4社)(2025.2.20~21) 橋渡し支援シーズ発のベンチャー企業も発表
発表企業募集 スケジュール*	募集期間：10月中旬～11月中旬 審査期間：12月初旬～12月中旬 発表企業決定：12月中旬

* 2024年度スケジュール



参考) 第6回発表企業募集サイトは[こちら](#)、第6回視聴参加者募集サイトは[こちら](#)

2025年度の開催が確定次第、日程等周知いたします



シーズH 支援内容

実施内容	担当部門	
	iACT	所属機関
研究費提供	提供	手続き
契約等手続き	依頼	手続き
計画書・報告書・知的財産権出願通知書	依頼	手続き
PMアサイン	実施	
知財ミニ講義 + ワークショップ(特許検索)	実施	
セミナーの提供 (開発、知財等)	実施	
委託による競合品、市場調査、TPPの作成	調査会社の紹介	調査会社への委託
公的資金獲得支援	面談/相談会	
大学発ベンチャー支援(UCSDショーケース)	実施	
臨床医とのマッチング支援	個別紹介/マッチング会	
企業とのマッチング支援	個別紹介/マッチング会 (AMED商談会、DSANJ)	
病院見学	診療科との調整	手続き

シーズH

■ 支援対象となる課題

(1)の条件を必ず満たす課題。また、(2)、(3)、(4)のいずれかを満たす課題。

- (1) 医療応用を目指した研究開発課題であり、医学・歯学・薬学系以外の先端技術・知識を活用して医療イノベーションを実現する研究開発課題
- (2) 薬機法対象の医薬品・医療機器・再生医療等製品・体外診断用医薬品を研究開発する課題においては、期間内に要素技術の原理確認を行う基礎研究（シーズA前の開発ステージを想定）を実施予定で、期間終了までにシーズAへの応募や医療実用化に関する他研究費事業への応募を目指す研究開発課題であることに加え、将来的に企業と連携した上での特許出願・特許網構築について努力していく予定の研究開発課題
- (3) 薬機法対象の医薬品・医療機器・再生医療等製品・体外診断用医薬品の開発に用いる基盤技術を研究開発する課題においては、期間内に要素技術の原理確認を行う基礎研究を実施予定で、将来的に起業又は企業と連携し事業化を目指す研究開発課題
- (4) 医療現場において先端技術が社会的に受け入れられるための技術アセスメントやELSI（倫理的・社会的・法的課題）、ガイドライン提言等への取組を開始する研究開発課題

■ 応募者資格

- ・ 異分野融合型研究シーズの登録期間内（2025年6月下旬～2026年3月31日の1年間）に退職などの異動の予定がなく、申請時の研究体制が維持できること。
- ・ 研究開発代表者または同じ研究を実施されているチームの方が、当機構が企画する定期的なコンサルテーションに参加する意思があること。
- ・ 研究開発代表者が大学・研究機関等所属の研究者（常勤）であり、かつ医学部、歯学部、薬学部（研究科）に属していないこと。
- ・ 研究開発代表者が医学部、歯学部、薬学部（研究科）以外の「医学」「歯学」「薬学」「生命科学」に関係する学部・研究科・附置研究所に所属する場合は、研究開発代表者が医歯薬免許を持たない研究者である場合のみ応募可能。
- ・ 研究開発代表者が「医学」「歯学」「薬学」「生命科学」に関係しない学部・研究科・附置研究所に所属する場合は、研究開発代表者の医歯薬免許の有無に関わらず応募可能。

研究費額・期間と応募方法

■ 研究費の金額および期間

研究費の金額： 1件あたり **180～330万円**程度※1

採択件数： 拠点内外あわせて **20件**程度

支援期間： 2025年 6月 下旬頃 ～ 2026年 3月 31日

研究費の使用期限：2026年 3月 31日※2

- ※1 採択件数により、補助金額は変更の可能性があります。また、支援に要する費用として、補助金より一定金額を当機構に計上いたしますことをご了承ください。
- ※2 2026年1月中旬に審査を行い、2026年度の継続支援(研究費支給)を判断いたします。
ただし、2024年度シーズHとして新規採択されていた研究開発課題については、2026年度の継続支援は実施せず、2025年度末で支援終了となります。

■ 応募方法

当機構HP (<https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/br/>)の【2025年度橋渡し研究プログラム_研究支援課題募集】ページから「**シーズH申請書 (wordファイル)**」ならびに「**シーズH説明スライド (pptファイル)**」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、同HPの申請窓口よりご提出ください。

必ず、申請書と説明スライドの**両方**を作成し、**pdfファイルに変換**のうえ、提出してください。

選定基準(3項目)

評価項目	評価ポイント
① 研究の特色・独創性	<ul style="list-style-type: none">革新性、新規性があるか従来技術を越える有用性、利便性などが見込まれるか
② 医療への貢献の可能性	<ul style="list-style-type: none">医療上のニーズがあるか
③ 開発可能性 (計画の妥当性含む)	<ul style="list-style-type: none">医療応用への技術的な課題解決になっているか製品に結び付く可能性は高いか研究体制は整っているか

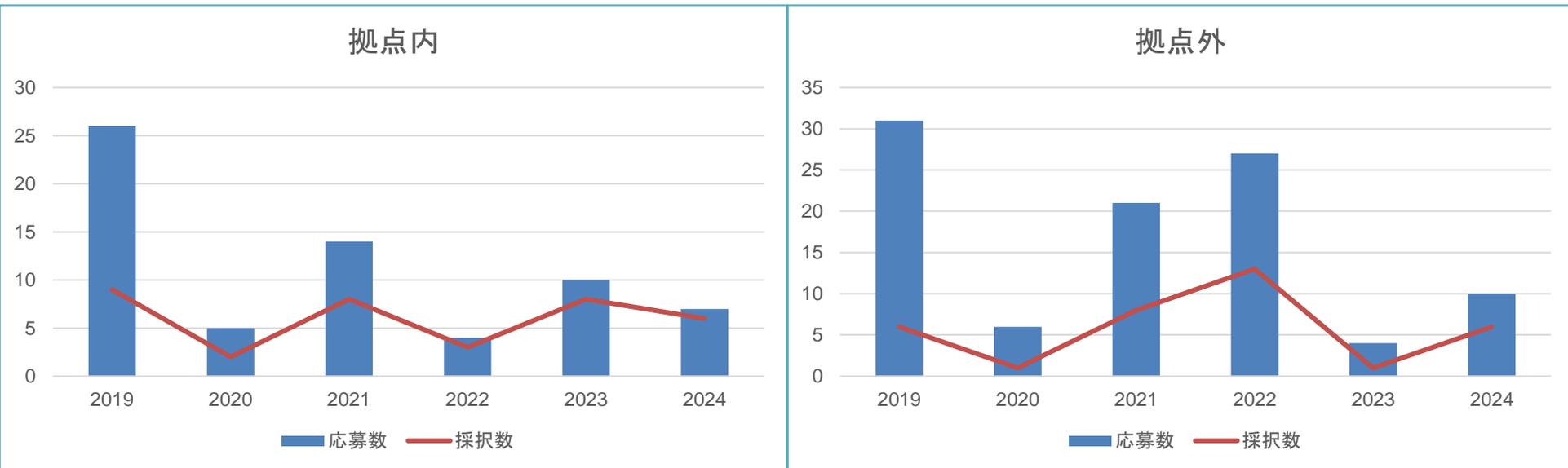
総合評価(相対評価): 10点満点

留意点

- 京都大学を含む橋渡し研究戦略的推進プログラム拠点又は橋渡し研究支援機関※において、すでにシーズABCとして登録されている又は過去に採択された課題は、本募集に応募することはできません。京都大学を含む各拠点においてシーズHとして登録されている又は過去に採択された課題については、京都大学拠点において2024年度にシーズHとして新規採択され研究費を受領していたシーズのみ、本募集に応募可能です。また、同一研究開発課題を京都大学以外の橋渡し研究支援拠点※に重複して応募することはできません。シーズH、シーズAについて、別課題の場合、当拠点に研究開発代表者として応募可能な件数はシーズH、シーズA各1シーズまでとします。
- 他事業との重複申請は可能です。ただし、他事業がAMED事業のような実用化を目的とした事業であり、開発品および対象疾患が同じ課題については、重複受給は不可とします。重複して採択された場合はいずれかを辞退していただく必要があります。
- 当拠点では、「橋渡し研究支援機関」認定化に際しての文部科学省からの要請に基づき、信頼性の高いデータに基づく基礎研究を重視しています。そのため、採択課題に関しては、データの信頼性に関する誓約書の提出をお願いしています。また、鍵となる研究データの頑健性について、支援開始後の初回面談においてご説明いただきます。予めご了承ください。

※京都大学以外の橋渡し研究支援機関（★異分野融合型研究開発推進支援事業採択機関）：
北海道大学、東北大学★、筑波大学、国立がんセンター、東京大学、慶應義塾★、
藤田学園、名古屋大学、大阪大学★、岡山大学、九州大学★

シーズH新規応募・採択の推移



募集・選考スケジュール

シーズH

個別相談:**随時** (研究内容に関する30分程度の個別Web相談をHPより受け付け)

課題募集: 3/28 (金) ~ **4/17 (木) 正午締切厳守** (申請書と説明スライドをpdf化して提出)

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構

書面審査
(4月下旬~5月中旬)

内定通知 (5月下旬予定) → 辞退者確認

拠点内で採否及び支給金額決定 (5月末頃) → AMED提出書類作成

AMED提出 (6月上旬頃) → AMED承認後、支援開始 (6月下旬頃)

※ シーズH書面審査の過程で、
申請者本人に問合せを行う場合があります。



問い合わせ先

■ お問い合わせ先

シーズ H

シーズ応募に関するお問い合わせは、下記よりお願いいたします。
お問合せ : <https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/brform/seeds-inquiry/>

事務手続き

京都大学医学部附属病院
臨床研究戦略課
機構支援掛
E-mail : kucnslt@kuhp.kyoto-u.ac.jp

個別シーズ相談



各シーズの応募に関するご相談

実施期間 : **随時** (日程調整に数日要するため、募集期間締切間際の申込の場合、募集締切後の対応となる可能性があります)

対象者 : 2025年度橋渡しシーズH申請を検討中の研究者

相談内容 : 各シーズの申請要件を満たしているか 等

相談時間 : 30分程度

相談人数 : 数人程度まで可 (企業担当者同席可)

相談場所 : Web会議

iACTのHPよりお申込みください

⇒ <https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/brform/seeds-inquiry/>



WEB申込方法

シーズ応募に関わるお問合せ（メール回答まで）

応募シーズの該当性などシーズ応募に関わる質問は下記より

シーズ相談フォーム 



シーズ相談フォーム	
氏名 必須	<input type="text"/>
フリガナ 必須	<input type="text"/>
所属機関・診療科・研究室等 必須	例：京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構
役職名 必須	例：教授
電話番号 必須 (半角数字)	電話番号
	内線 or PHS番号 <small>ハイフン不要、電話番号もしくは内線・PHS番号いづれを入力</small>
メールアドレス 必須	<input type="text"/>
メールアドレス 必須 (補完用)	<input type="text"/>
研究対象 必須 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 医療器具 <input type="checkbox"/> 医療機器 <input type="checkbox"/> 体外診断薬 <input type="checkbox"/> 衛生医療用薬材 <input type="checkbox"/> 未定
産実企業 必須	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
相談内容 必須 ※シーズをお選びください	<input type="radio"/> シーズA（産分野） <input type="radio"/> シーズA <input type="radio"/> Open <input type="radio"/> シーズB <input type="radio"/> シーズC <input type="radio"/> シーズD <input type="radio"/> その他
	<input type="text" value="相談内容を記載してください"/>
希望相談方法 必須	<input checked="" type="radio"/> メール <input type="radio"/> Web相談
【学内研究者のみ】 学術研究開発センター [※] の同僚	<input type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない <small>※学術研究開発センターとは、特許業務AMED事業室に付随する特許管理の提供可能なプラットフォームの学内機関、学術開発書院などです。</small>
研究課題名	<input type="text"/>
研究概要	研究概要を記載いただくか、参考資料を添付してください。 (非公開なおよび発表前の情報は伏せ記載ください)